まなび部模試　理科　第1回

各4点 × 25問 ＝ 100点。表の 数字は 教材の 値。

1 飽和水蒸気量と 湿度

1　飽和水蒸気量

気温が 高いほど 大きい。

2　フェーン現象

かわいた 空気は 下ると 100 m で 約 1℃ 上がる。

3　50%

湿度 ＝ 8.65 ÷ 17.3 × 100 ＝ 50%。

> 湿度 ＝ 実際の 水蒸気量 ÷ その 気温の 飽和水蒸気量 × 100

4　2.4 g

もとの 水蒸気 ＝ 30.4 × 0.5 ＝ 15.2 g。15℃ では 12.8 g までしか ふくめない。15.2 − 12.8 ＝ 2.4 g。

> 冷やしたあとの 飽和水蒸気量を ひく。

5　露点

水蒸気が 水滴に 変わることを 凝結と いう。

2 雲と 前線

6　下がる

上昇 → 膨張 → 冷える → 露点に 達する → 凝結して 雲ができる。

7　巻雲

高層（上空）の 雲。巻層雲＝うす雲、巻積雲＝うろこ雲。

8　積乱雲

垂直に 発達する 雲。

9　温暖前線

寒冷前線は 狭い 範囲で 強い 雨が 短時間。

10　停滞前線

梅雨前線は 停滞前線の 一つ。

3 気温・地温・海陸風

11　海風

昼は 陸の ほうが 暖まりやすい → 陸で 上昇気流 → 海から 陸へ。

12　陸風

夜は 陸の ほうが 冷えやすい → 海で 上昇気流。

13　気温

太陽高度（南中）→ 地温 → 気温 の 順に 最高に なる。

14　放射冷却

晴れて 風の 弱い 夜に おこりやすい。

15　地温

地面の ほうが 空気より 暖まりやすく 冷めやすい。

4 気象観測と 天気図

16　**日光（日射）を 反射して、温度に 影響が 出ないように する ため。**

白色・よろい戸・芝生の 上・風通しのよい 場所に 設置し、とびらは 北向き。温度計は 地上 1.2〜1.5 m。

17　**地上 1.2〜1.5 m**

風通しの よい 日かげで はかる。1.2〜1.5 m の はんいの 値なら 正解。

18　**アメダス**

気温・降水量・風向風速などを 自動で 観測する。

19　**約 3万6000 km**

地球の 自転と 同じ 周期で まわる 静止軌道。

20　**ヘクトパスカル（hPa）**

同じ 気圧の 地点を 結んだ 線が 等圧線。

5 季節と 気象

21　**シベリア気団**

冬は 西高東低。

22　**小笠原気団**

夏は 南高北低に なりやすい。

23　**西高東低**

北西の 季節風が ふき、日本海側は 雪、太平洋側は 晴れやすい。

24　**真夏日**

夏日は 25℃以上、猛暑日は 35℃以上。

25　**高い**

ラニーニャ現象は 平年より 低い 状態が 続く。